



NO.1403

2月19日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八三三
四三三・四四五八
F四三三・四四五七

憲法25条：②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

重油特別委員会が現地調査

重油漏れ事故対策検討特別委員会は、事故に対応する条例案や道知事あての意見書を作成するにあたって、上智大学大学院法学研究科長・教授 北村喜宣氏と弁護士法人イノベントイア弁護士 町野 静氏からオンラインで数度にわたってアドバイスを受けてきました。

この度、現地の状況を知る必要があることから観光ホテル重油漏れ事故の現場を視察しました。2月11日午前11時からオホーツク振興局の担当職員から現地を案内され、これまでの経過の説明を受けました。また、現場と隣接する「さけ・ます孵化場」も視察しました。網走漁協と西網走漁協の関係者も同行しました。



現地を視察する北村教授と町野弁護士。(写真中央)

議室で、北村、町野両氏により、道知事あて意見書の内容の説明がありました。そこには、オホーツク振興局の職員や両漁協の関係者、市議会重油漏れ事故特別委員会の議員なども参加しました。フロアからの質疑も活発に行われました。

3年ぶり流氷まつり開催

2月11・12日、エコセンター駐車場で流氷まつりが3年ぶりに行われました。中心市街地には多くの観光客の歩く姿が見られました。12日の夜には、花火が網走橋のたもとから打ち上げられました。



12日、まつりのフィナーレを飾る花火。家族連れや多くの市民が楽しんでいました。

これでいいの？大軍拡！②

5年間で43兆円

5年間で43兆円という大軍拡が進められようとしています。今年6兆8219億円。あと4年で36兆1781億円ということになります。単純計算で1年平均9兆445億円。そのあとは、減っていくわけではありません。国民総生産の2%以上にするとはいっていますから、5年後は今より5兆円以上増額されて10兆円を超える軍事費が毎年続くことになってしまいます。こんなことでいいの？



「大軍拡ではなく少子化対策こそ優先を」「岸田首相は子育てで何が大変かを全く分かっていない」の声が高まっている。「岸田首相は少子化対策」は「最重要政策」と岸田首相は声を張り上げます。しかし、若い世代、子育て世代の切実な要求にこたえるものではないと見えます。具体化もされていません。5年間で43兆円の大軍拡とは、あまりに対照的です。

全保育園・幼稚園に保育士を2人配置しても3366億円、3歳～5歳の給食費884億円、0歳～2歳の幼児教育4889億円、中学校の教材費750億円、小学校の教材費1200億円、小中学校の給食費4451億円、高校の教科書等教材費660億円、私立高校の学費6500億円、公立高校の学費629億円、専門学校学費3500億円、大学・大学院の学費3兆3000億円、合計しても5兆9829億円です。異次元の少子化対策というなら、なぜこれらをやらないのでしょうか、私には理解できません。



私が小学5年生の頃、友達と車で北見まで買い物に行ったものでした。車社会が進み、JRを利用する人が減り、道内では留萌線の廃止が決定するなど全国で廃線が相次いでいます。

旭川・網走間の石北本線は、JR北海道単独では維持が困難で、赤字額が48億円になるといいます。しかし、これは35年前に国が行った分割民営化の破綻を示すものであって、その検証もしないで、全国に広がる鉄道網をズタズタにしてはいけません。

日本共産党の「全国の鉄道網を維持・活性化し、未来に引き継ぐために」という提言では、新幹線のように、国が線路・駅などを保有・管理し、運行はJRが行うことなどを提言しています。

鉄道は網走の観光はもちろん、地域振興になくなくてはならないものです。輸送量に対するCO2排出量は営業用貨物車の8%と、これからの温暖化対策に欠かせません。しっかりと取り組む課題です。

流氷

2月10日宮崎地裁で「国が2013年から行った生活保護の基準額引き下げは、生存権を保障する憲法に違反する」として、全国で5件目の「いのちのとりで裁判」で減額処分取り消しがありました。平均で6.5%もの基準引き下げはこれまでになく、約96%の生活保護利用世帯が減額されたため「その影響は重大」だとしています。▼タモリさんの「新しい戦前」にさせないように、「5年で43兆円もの大軍拡」をやめさせ、「庶民・国民の生活が第一」の国創りが求められます。「戦争の準備をすれば戦争になる。平和をつくらうと思えば平和の準備が必要だ」と評論家の加藤周一さんが言いました。「大増税してまで軍事費を増やすのはダメ!!戦争する国にしてはいけません」の一点での共同を作り上げましょう。▼全生連は「税の相談会」の名称は使わずに「税金の説明会」や「何でも相談会」などの呼称にすること、自らが記入する自主書き込み(請負の禁止)を徹底して運動が萎縮しないように自主申告権を守ろうと訴えています。インボイス制度の問題点や消費増税への道すじ、骨の髄まで吸い取る悪税に反対していきましよう!!

北見生活と健康を守る会
副会長 神田 優